

全国小学校英語教育実践研究会 令和2年度 「わたしの英語教育実践」	6年生 外国語(10月) NEW HORIZON Elementary⑥ Unit5 8h扱
⑥ 小中連携の取り組み	高知県高知市立義務教育学校土佐山学舎 外国語担当 川越 美和

他教科とつながる、異学年とつながる！(食物連鎖の学習でつなげる)

高知市の5・6年生で今年度より使用することになった教科書「NEW HORIZON Elementary」。その中には、今までの「We Can!」にはなかった新しい単元も入っています。その一つが、「We all live on the earth.～食物連鎖について発表しよう～」です。この学習は、理科の学習と深く結びついているため、教材研究の際に、6年生の理科を教えている後期課程(中学校)の理科の先生にも入っていただきました。

6年生の理科の学習内容や、9年生(中学3年生)でもう一度深く学ぶことを教えていただき、授業も見せてもらいました。6年生の学級担任より、道徳ともつなげるというアイデアももらいました。



① 理科の学習とつなげて

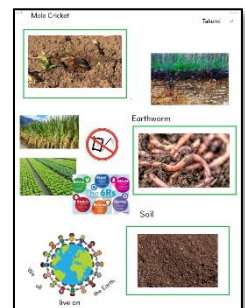
理科の学習で使用した動物カードを使って食物連鎖になるようにカードの並べ替えを行いました。

ライオン loin→きつね fox→へび snake→かえる frog→バッタ grass hopper→草 grass

*子どもたちは、カードを見た瞬間「理科で宮崎先生とやったやつや!」と喜び、食物連鎖の関係について意欲的に発表しました。「Lions eat? Foxes. Good! Foxes eat? Snakes.」授業後のふりかえりにも「今回の勉強は理科で学習しているので、面白いしすごく分かりやすい」と書かれていました。

② 道徳とつなげて「SDGs 14海の豊かさを守ろう、15陸の豊かさを守ろう」

道徳の時間に生態系の保護やレッドリストについて学習した子どもたちから「こんなにたくさんの生き物が絶滅の危機にあるとは思わなかった。保護するためには動物について知ること、どうやったら守れるかを考えることが大切だ」という意見が出ました。そこで「100年後も絶滅してほしくない動物」という観点から生き物を選び、その住処や食物連鎖を中心に発表することにしました。



③ 9年生との交流

6年生と同じく食物連鎖について学習している9年生に最後のプレゼンを聞きに来てもらいました。後期課程の生徒は、感想や質問は全て英語で言いました。

中には「Have you ever seen falcons?」(鷹を見たことある?)など難しい表現もありましたが、子どもたちは推測しながら聞いて「No, on TV.」などと答えることができていました。



共通の学習体験という背景があることで、学習内容がより分かり合えること、質問や感想の質が高まることが分かりました。6年生同士では出ないような質問、感想を伝えてもらうことで、発表の達成感が深まると共に、あこがれの気持ちももつことができました。



新学習指導要領では、言語活動で扱う題材について「児童の興味・関心にあったものとし、国語科や音楽科、図画工作科など、他の教科等で児童が学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりするなどの工夫をすること」と記されています。本実践では、子供が理解や道徳で学習したことと関連付け、子供達の学びの質をとてもうまく深めています。子供の好きなもの、したいことなど、子供にとって身近なことを扱うことも大切ですが、高学年になれば、子供の発達段階に合わせて、社会的な題材も取り入れ、英語を使って様々なことを発信させたいものです。(直山木綿子)